

フォーラムテーマ:「縮小する地域社会でのまちづくりと住民主体のワークショップの重要性」

* フォーラムの目的

政策情報学フォーラムの目的は、議論を行う上で時間的制約などがある研究大会などのイベントとは異なり、小規模で政策情報学に関連した様々なテーマを取り扱い、時間をかけた密度の高い議論を行っていくことにあります。また、さまざまな異なる立場の交流と協働の「開かれた対話と創造の場」として構想されており、現実のさまざまな政策問題を探求、検討し、実際にその解決策を提示しながら、社会の持続的発展に寄与することを狙いとしております。

開催日時: 2018年7月15日(日) 14:30~17:00

開催会場: 千葉商科大学 丸の内サテライトキャンパス「Galleria 商.Tokyo」
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル 1F(お堀側)

基調講演講師: 木下 勇 先生 (千葉大学園芸学部教授)

基調講演演題: 「心に灯が点くワークショップ、心が冷めてしまうワークショップ、ワークショップを正しく使うには」

講演要旨: 人口減少下、中央をあてにするよりも、足元の地域を見直し、心の拠り所を再発見し、その上に、何か新しいものに乗せて創造的にかつ面白く暮らしていくことが、次世代にもつながるまちづくりとなる。住民参加の免罪符のようなワークショップの弊害も見られる中、本当に住民の力となるワークショップの組み立て方、そしてSDGs(持続可能な開発目標)にも貢献する、次世代に向けて多様な主体が連携する地域づくりのあり方を講演と対話で、皆様と展望します。

プログラム:

14:30-14:40	開会挨拶 政策情報学会 会長代行 若井郁次郎 (大阪産業大学)
14:40-14:50	フォーラム趣旨説明 フォーラム実行委員会委員長 朽木量 (千葉商科大学)
14:50-15:50	基調講演 「心に灯が点くワークショップ、心が冷めてしまうワークショップ、ワークショップを正しく使うには」 木下 勇 先生 (千葉大学園芸学部教授)
15:50-16:00	休憩
16:00-17:00	フロア討論・まとめ
17:15-18:45	懇親会 (JR 有楽町駅周辺)

主催: 政策情報学会
<http://www.policyinformatics.org/>

共催: 千葉商科大学政策情報学部

参加費: 無料 (懇親会に参加される方は別途実費負担となります)

出欠連絡の方法: 準備の都合上、出席・欠席に関わらず、できるだけ7月7日土曜までに以下の URL から出欠連絡をお願いいたします。

<http://www.policyinformatics.org/event/forum/13th/form.html>

※非会員の方の参加也大歓迎です。 ※当日の飛び入り参加も歓迎いたします。

交通アクセス: <http://www.cuc.ac.jp/access/index.html#marunouchi>

■JR「有楽町駅」(国際フォーラム口)より徒歩 2 分

■東京メトロ有楽町線「有楽町駅」直結

■都営地下鉄三田線「日比谷駅」直結

